

計算書出力内容一覧

「構造の安定」

建築確認申請用計算書

壁量	：壁量充足率	壁量充足率比	偏心率
接合部	：筋かい端部 柱端部金物（軸組形状による計算 / N値による計算）		

設計性能評価申請用計算書

壁量	：壁量充足率	壁量充足率比	偏心率
床倍率	：耐力壁線間隔 床倍率 火打ち構面		
接合部	：筋かい端部 柱端部金物（軸組形状による計算 / N値による計算） 胴差しと通し柱 床・屋根の外周部		

「劣化の軽減」

耐久性能値 / 耐用年数	：耐久性能値明細 / 推定耐用年数 階別部位区分伏図（雨樋、水廻り室等）
--------------	--------------------------------------

「温熱環境」

次世代省エネルギー基準総合判定表	：（Q値、 μ 値、相当隙間面積C値と必要な設計施工措置、防露措置により判定）
個別計算書等	：熱損失係数Q値計算書 日射取得係数 μ 値計算書 部位別熱貫流率K値計算書 省エネ対象部位面積集計表
その他	：部位結露情報（結露判定表） 部屋別面積伏図

各種帳票・計算書等

株式会社 デジタルデザインシステム

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-17上田司町ビル3F

TEL 03(5217)3941(代) FAX 03(5217)3944

URL <http://www.netdds.co.jp>

E-mail info@netdds.co.jp

販売代理店

住宅の品質確保促進法 - 木造住宅性能評価支援システム
ちょうじゅうろう

- 長住郎 -

- ★ 「設計性能評価申請」に必要なツールを1パックにしました！
- ★ 「住宅性能表示制度マニュアル」*に準拠したスタイルで出力が作成できます！

*「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」- (財)日本住宅・木材技術センター

申請書類に計算書.....
プレゼンテーション
やるのがいっぱいだ
なア...

「長住郎」なら...
1パックで複雑な作業
もラクラク処理！

これで解決！性能表示

株式会社 デジタルデザインシステム

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」 - 平成12年4月1日施行 により、住宅の性能は具体的な等級や数値で提示することが要求されるようになってまいりました。「長住郎」は、指定住宅評価機関への設計性能評価申請に必要な添付図書等を「日本住宅性能表示基準」「評価方法基準」にもとづき、効率よく作成するためのソフトウェアです。

設計性能評価申請に要する書類等

設計性能評価申請書	設計性能評価申請にはこれまでの設計図書（図面等）に加え、「自己評価書」「設計内容説明書」「計算書」の作成が必要です
自己評価書	自己評価書：9項目の性能表示区分に関する、設計住宅の性能等級等の自己評価を記述します
設計内容説明書	設計内容説明書：9項目の性能表示区分に関する、自己評価の根拠となる設計の仕様等を記述します
設計図等	
計算書等	計算書等：性能表示区分のうち、計算により性能等級判別を行った項目についての計算書等を作成・添付します

「住宅性能表示」で、判りやすく、安心・納得の住宅プランを提供できます

「長住郎」で作成可能な書類と計算書

性能表示区分	自己評価書	設計内容説明書	計算書
1. 構造の安定			
2. 火災時の安全			
3. 劣化の軽減			
4. 維持管理への配慮			
5. 温熱環境			
6. 空気環境			
7. 光・視環境			
8. 音環境（選択項目）			
9. 高齢者等への配慮			



自己評価書の作成

9項目の表示区分ごとに用意された画面にしたがって、設計住宅に関する、自己評価結果の性能等級や、その評価方法等を入力し作成します。操作としては、主にマウスで選択するだけで容易に作成可能です。

設計内容説明書の作成

9項目の表示区分ごとに用意された画面にしたがって、自己評価の根拠となる設計仕様等の必用記入項目を入力し作成します。入力の補助機能として、「構造の安定」の項目では、入力データや計算結果を読み込むことにより、計算書と整合の取れた内容で手早く書類作成が行えます。ワープロで作成するのに比べ記入漏れも防ぐことができ、短時間で楽に作業が終了します。

（財）日本住宅・木材技術センター発行の「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」に準拠した出力様式で書類を出力できます。

計算書の作成

「構造の安定」「劣化の軽減」「温熱環境」の3項目について計算書を作成できます。

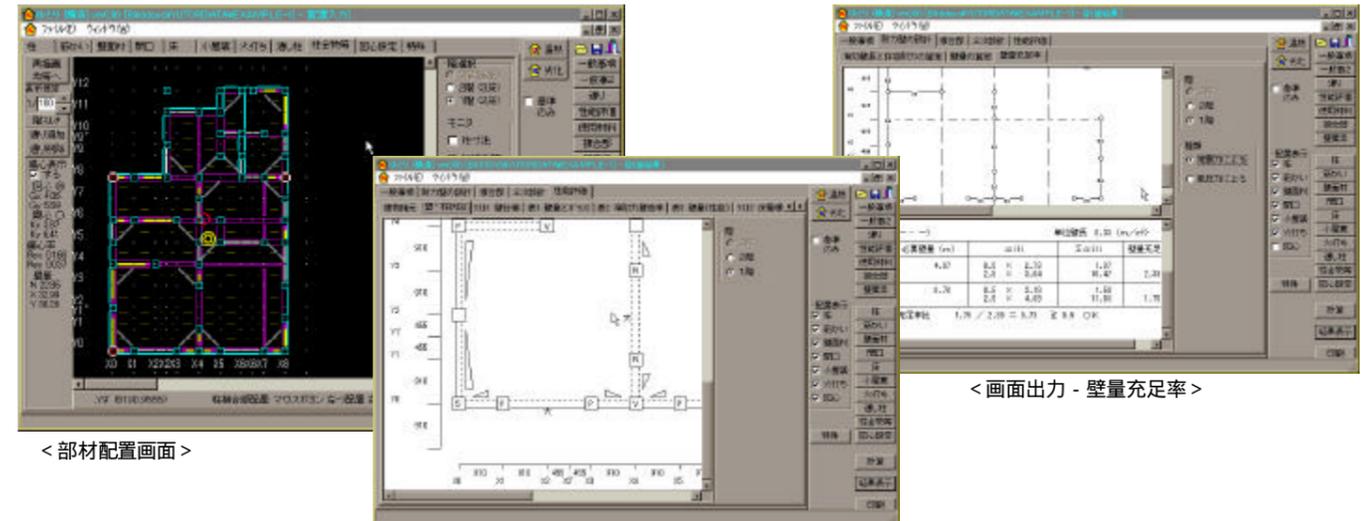
計算に必要な部分に絞って簡素化された入力構成で操作の修得も容易、スピーディな計算書作成が可能です。

計算結果はすべて画面で確認できます。

「構造の安定」

建築確認申請用計算書が作成できます。
設計性能評価申請用計算書が作成できます。

- 便利な入力補助機能
壁量や剛心/重心/偏心率を入力と同時に換算表示可能。再計算時の柱金物入力では、自動選定結果/検定結果（NG位置も同時にチェック）を参照可能です。
- 一連計算
性能評価申請用では、「壁量・充足率（充足率比）・偏心率の計算」「耐力壁線の判定」「床倍率の計算」「接合部の設計」までを連続して計算します。
- 豊富な出力内容
性能評価申請用では、「木造住宅のための構造の安定に関する基準解説書」（（財）日本住宅・木材技術センター発行）に準拠した様式で「壁量等確認図・1（壁量・壁のつり合い）」、「壁量等確認図・2（床倍率・接合部）」をA2版2枚で出力計算項目ごとのチェック出力および、CADデータ互換用としてDXFファイル出力をサポートしています。建築確認申請用にも専用の出力様式を別途用意しています。



<部材配置画面>

<画面出力 - 金物伏図>

<画面出力 - 壁量充足率>

「劣化の軽減」

「木造建築物の耐久性向上技術」（（財）国土開発技術センター建築物耐久性向上技術普及委員会編）に準拠した方法により計算を行います。「評価方法基準」に準じるものではありません。

- 「構造の安定」で入力された基本データに追加データを与えることで入力作業量を省力化
- 住宅の耐久性能を仕様規定ではなく、計算に基づいた「耐久性能値」「耐用年数」として示すことができます。計算結果は参考計算書としてご利用いただけます。

「温熱環境」

「評価方法基準」に示された、「熱損失係数等による基準」等による、等級適合判定のための計算を行い、総合的な温熱計算書の様式として「次世代省エネルギー基準総合判定表」を出力します。

- 「構造の安定」で入力された基本データに追加データを与えることで入力作業量を省力化できます。
- 熱損失係数Q値、日射取得係数μ値の他、設定等級に応じた相当隙間面積C値と必要な設計・施工上の措置および防露措置を自動選択し総合判定表として出力できます。又、参考出力として、部位別結露判定情報を出力できます。